

製品名: AQP4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07072**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	AQP4
別名	AQP4; Aquaporin-4; AQP-4; Mercurial-insensitive water channel; MIWC; WCH4
遺伝子 ID	361.0
SwissProt ID	P55087
免疫原	抗血清はヒト AQP4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 204-253

背景

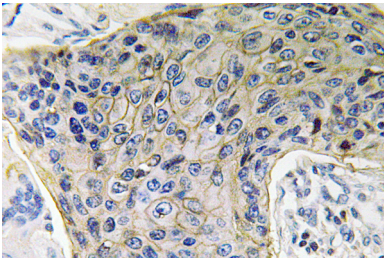
この遺伝子は、多くの細胞の細胞膜で水選択性チャネルとして機能する内因性膜タンパク質のアクアポリンファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は脳で見られる主要なアクアポリンであり、脳水分恒常性維持に重要な役割を果たしています。

この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。最近の研究では、この遺伝子の翻訳リードスルーと、選択的インフレーム翻訳終結コドンの使用による C 末端延長型アイソフォームの発現の証拠が示されました。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]、ドメイン:アクアポリンは、それぞれ 3 つの膜貫通ドメインと、Asn-Pro-Ala (NPA) を特徴とする孔形成ループを含む 2 つのタンデムリピートで構成されています。機能:水特異的チャネルを形成します。体内の水分バランスを調節し、中枢神経系内の水の流れを仲介する浸透圧受容体。類似性:MIP/アクアポリン (TC 1.A.8) ファミリーに属します。組織特異性:脳 - 筋肉 >> 心臓、腎臓、肺、気管。

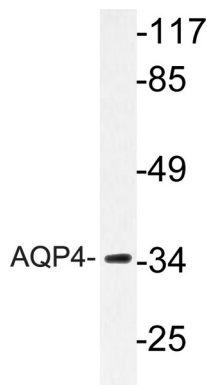
研究分野

シグナル伝達、代謝、細胞膜、チャネル、神経科学、プロセス

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における AQP4 抗体の免疫組織化学分析。



AQP4 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



AQP4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析